

22nd July 2021

『野生のイノシシに対する豚コレラ対策』
について

豚コレラワクチンが沢山散布されています。ワクチンは人体に影響はないが、どのような菌が付着しているか分からないので安易にさわったりしないように指導してください。もし触れてしまった場合には、十分な手洗いをさせるように併せて指導をお願いします。

令和3年7月6日

野生のイノシシに対する豚コレラ対策

野営場御利用者の皆さま
各位

新城吉川吉川野営場

記

平素は、新城吉川野営場をご利用いただき有難うございます。また、コロナウィルスに感染防止対策にご理解とご協力を賜わり感謝申し上げます。

写真は CSF(豚コレラ)のペイト型ワクチン(経口ワクチン)で、野生のイノシシに対する免疫付与を目的に山野に散布されています。一昨年、愛知県で 65,000 頭の豚を殺処分するに至りました。CSF は豚の他にイノシシも罹患し、全国の疾病の蔓延にはこのイノシシの存在が大きく関わっています。よって、野生のイノシシにも免疫を付与し、野外からの感染を下げる(野外におけるウイルス濃度の低減)ことが、CSF 対策の一環として取り組まれています。愛知県では、散布と調査が同時に行われており、散布したワクチンの後日調査が行われています。この散布、調査は国の主導のもと市町村の協力によって実施され、一部、民間に委託されて猟友会などが受託していると思います。なお、新城市は県下でもっとも多くワクチンが散布されている地域です。

CSF 自体は人間に感染しないので危なくはありません。この包装紙にしても、関東の方では人が入れない場所に空中散布されており、腐りはしませんが自然環境的に危険なものではないと思われます。ただ、明らかに野生動物の噛み痕のあるものは、どんな菌がついているかはわからず、衛生的なものではありません。野外活動の際に拾ったり、触れたりせず、触れた場合は十分に手洗いを実施するようにご指導下さい。

以上

【豚コレラワクチン】 動物の噛み後 拾ったり、触れたりしないでください。

